

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970200139
法人名	(株)徳増工業
事業所名	グルーウホーム なかよし
訪問調査日	平成 19 年 10 月 19 日
評価確定日	平成 20 年 1 月 29 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月6日

【評価実施概要】

事業所番号	3970200139		
法人名	(株) 徳増工業		
事業所名	グループホーム なかよし		
所在地 (電話番号)	室戸市元甲206-1		(電話) 0887-23-1857

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年10月19日	評価確定日	平成20年1月29日

【情報提供票より】(19年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 7人, 非常勤 8人, 常勤換算	14 人

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独		新築 / 改築
建物構造	鉄骨 造り		
	3 階建ての	3 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~13,000(円)	その他の経費(月額)	11,000 円
敷金	有() 円	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要(9月30日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	8 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	3 名		
年齢	平均 86 歳	最低	78 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	室戸病院、有光歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

漁業の町、そして隣に母体法人の会社があり社員が働いていることなどが、地域特性と相成ってこの事業所の特徴となっている。利用者一人ひとりが"人"としてそこで生活し、"力強さ"が窺える事業所である。管理者、ホーム長の独特の福祉感、高齢者感、グループホーム感に支えられ、日々の暮らしの中で利用者が支えあって暮らしているのではなく、自由で個性的に暮らしている。しかし、バラバラではない。また一人ひとりの利用者のプライバシーを守ろうとする職員の姿勢は手に取るように分かる。人を人として認め、老いて生きることの原点を垣間見ることができるホームである。評価したい。特徴のあるこの事業所の今後を見守り大いに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	居心地良く暮らせる居室の配慮については、整然とし清潔感のある居室ではないが、利用者が生活感にあふれ、力強く、たくましく、暮らせる原点はこの居室から生まれているという感じを受ける。細かな指摘については改善できている。安定的に日中の休息が取れることについても、それぞれの利用者は、自由に職員も日々の暮らしの中で、利用者の思いを最大限に尊重している。この結果、利用者は自由に暮らせているものと考えている。改善でき特徴ある事業所ができています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	前回の評価結果を基に改善し、より良いサービスの提供に努めている。今回の評価においても、職員全員が前向きに取り組み、良質な介護サービスの提供、向上を図るために、前向きにこの評価の活用にも努めている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	事業所は開設3年目を向かえ、地域の中で認知されている。運営推進会議では利用者の現況報告、行事計画等を報告し、意見をもらったり、委員から行事等について提案がでたりしている。これは母体法人の会社が地域の中で仕事をしていることの影響である。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	家族会は結成されていないが、管理者に家族は詳細なことでも言える関係性か出来ている。数人の職員の退職、異動はあるものの、管理者の前向きな明るさや、ホーム長の独特の福祉感が大きく影響し、利用者に影響なく暮らし続けることが出来ている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	調査日の翌日に神祭があるということで、ホームの玄関脇等にしめ縄が張られ、心躍るものであった。地域性がここにもあり、地域の人たちとの往来は日常的には多くはないが、行事のときは参加するなど、地域の中に根ざしつつある。町内会に入り神社の掃除をしたり、地域に出かけるなど、地域の一員として暮らすことが出来るよう取り組んでいる。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [「アイデアで、入居者の立場を考えサービスを提供する」というホーム独自の理念を掲げている。例えば、マイペースの利用者にはマイペースで過ごすことを保障するなど、理念の実現に向けて実践している。] <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容であ []	○	地域密着型のサービスの目的である、地域生活の継続支援と地域との関係性は構築できつつある。地域で利用者が安心して暮らし、地域生活の継続が支援できる理念を作成することが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [毎朝のミーティングの時、職員で理念を唱和したり、月1回の職員会の時、全員参加で理念について話し合いを行い確認している。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [マイペースの利用者にはマイペースで過ごすことを保障するなど、利用者主体のものとなっており、理念の実現に向けて実践している。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 [町内会に加入し、回覧板等も回ってきており、町内会の行事等へも参加している。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [事業所のすぐ近くの神社を清掃したり、ボランティアの方たちの踊り、三味線の来訪があると、近所の人たちも招待している。また利用者が縫った雑巾を保育園に寄付するなど、地域との連携を積極的に図っている。]		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [全職員に評価の意義や目的を伝え、話し合いをし意見を聞き、前向きに自己評価に取り組んでいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [昨年の3つの改善事項については、職員全員に報告し、改善に向けて検討、実践され改善できている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔事業所側から利用者の近況、行事等の報告をし意見をもらったり、委員から行事等についての提案等もあり、活発までとは行かないが意見交換はでき記録も残している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔運営推進会議に外部評価の結果を報告し、具体的な改善策や経過報告も出来ている。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 []		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の面会時には、積極的に近況報告を行い、また毎月担当者が自筆の手紙を家族に送り事業所での様子を報告するなど、細やかな心配りがされ、家族との連携、信頼関係は構築できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔毎月、ホーム便り「なかよし」を発行、ホームや地域の行事等を、写真入りで利用者の暮らしぶり伝えるものとなっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔事故等が発生すれば、病院に受診し家族に連絡するなど、心身の状況に変化があればその都度電話で報告している。また報告事項は、相談日誌に丁寧に記録し残している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔利用者全員の小口の金銭管理はホームで行っている。金銭出納帳も整理され、家族には、コピーした領収書を利用料の請求書と一緒に送付している。買い物時は、利用者にお金を渡し、本人が支払いをするなど、お金を使うことにも配慮できている。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会は組織されていないが、事業所側の細やかな配慮により、家族が何でも言える関係性はできている。家族は、職員に良くしてもらっているからこそ、苦情があっても言えないことがあることも管理者は理解している。11月に第1回の家族会を開催〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔些細なことでも直接管理者に話しがあり、それに向けての取り組みもしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>[管理者の退職はなく、数名の職員の退職・異動はあるものの、地元の職員が大半で、利用者と同様であることや、管理者、ホーム長のしっかりした事業所感に支えられ、利用者へのダメージは少なく、安定した生活を継続している。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>[職員全員がカバーし、比較的スムーズに移行できている。]</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>[事業所側から研修の案内等が周知され、希望する職員を優先し参加させ体制は出来ている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>[参加者全員が報告書を事業所に提出し、定例会で伝達講習を行い、研修内容の共有をしている。]</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>[高知県宅老所グループホーム連絡協議会には入会していないが、連絡協議会が行う研修会には参加し、質の向上に励んでいる。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員の質向上につなげている。</p> <p>[休日を利用し、他のグループホームの見学や、研修時に情報交換を行っている。]</p>	○	県内、全国組織の同業者ネットワークに加入することを望む。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>利用者の把握はできている。事業所独自のシートを作成で情報を収集し、利用者の全体像が見えるものとなっている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>[利用者や家族にホームに見学に来てもらい、個別相談にのり利用者が安心して入居できるよう努めている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>[入居希望者には、家庭や病院等に管理者、ホーム長が面接に赴き、入居希望者や家族の意向を聞き、安心感を持ってもらうようにしている。]</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<input type="checkbox"/> 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 利用者一人ひとりに、それぞれ役割が出来ており、その役割を大切に出来ることには手を出さず見守り、出来ないことにさりげなく支援する。職員全員が共有し実践している。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 [利用者に必要な以上に過剰なサービスを提供せず、共に暮らすという接し方により過ごしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大切さを教えてもらう場面がある。 [利用者のお大半が地元の方であり、地元の伝統行事等を行う際に、昔ながらの風習等を習いながら、また若い職員は米の研ぎ方を習うなど、ほほえましさを感じる事業所である。]		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<input type="checkbox"/> 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 [入居時に生活歴等の情報は把握し、その上で事業所の中で利用者間や職員との雑談の中でさらに把握している。] <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 []		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<input type="checkbox"/> チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 [家族にカンファレンスの開催の連絡をしているが参加がない。家族の思いや希望は、ホームに来訪時聞き、介護計画に反映している。] <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 [モニタリングは介護職員のみで行っている。その人らしさのわかる個別性ある細やかな実践可能な計画になっている。ただしアセスメントシートがホーム独自のもので課題が抽出できにくい。アセスメントシートの見直しを検討されたい。]		
16	37	<input type="checkbox"/> 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 [短期目標が3か月、長期目標が6ヶ月と設定されているが、変化があった時は見直し、記録も取っている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 [家族からの要望はないが、変化が生じた場合には、その経過を記録し見直ししている。] <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 [一人ひとりの利用者の、個別性のある計画となっている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔協力病院の往診が週一回あり、必要時には外来受診にも行っている。受診は職員で対応している。〕 <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔外出や外泊は家族の希望があれば、いつでも自由に出来る。30日間も外泊をした利用者もいる。〕	○	現在は、法人の方針で医療度が高くなると退居となる。契約書に記載し家族にも説明し同意を得ている。体調が悪くなると協力病院に入院するなど対応している。今後は、重度化や終末期への対応について取り組んでいくように検討することを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔入居前の病院がかかりつけ医の利用者もいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔基本的に家族の希望に沿っている。事業所の職員で外来受診に対応したりしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔外来受診に対応した職員が、病院で聞き詳しく受診報告書に記載し、職員間で共有ができています。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔家族や協力病院と話し合いはできているが、看取りの指針等の具体化は出来ていない。〕 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。 〔 〕	○	利用者、家族の希望により看取りができれば、安心して暮らし続けることが出来る。また事業所の多機能性の観点からも、今後の課題として取り組む事を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔いかにプライバシーを確保するのか、検討し実践している。〕 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔事業所全体で、個人情報保護について真剣に取り組んでいる。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 1人1人の「その日」にしたいこと〔買い物や散歩〕を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔業務を優先せず利用者のペースに合わせ、また利用者から希望があれば、可能な限り対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔一人ひとりの利用者が、自由に「その人らしく」のびのびと暮らしている。起床期間や食事時間等もそれぞれの利用者が自己決定できる仕組みになっている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔利用者の希望を聞き、1週間分の献立を立てている。調理は、出来ることは利用者が行っている。またテーブルを拭く等できることをそれぞれ能力に応じて行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員全員が同じ物を一緒に食べている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔基本的には、好きな時間に入浴できる体制は整っている。希望があれば夜間入浴も行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 〔入浴を拒否する利用者には声がけし、利用者の気持ちを尊重し、決して入浴を強制することなく、入浴したくなるように、支援をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔自然発生的に出来た役割や、利用者の習慣を職員は把握し支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔利用者の得意分野や能力を踏まえ、利用者の出番を積極的に作り支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔一人ひとりの利用者がしたいこと、出来ることを職員も一緒に行っている。例えば、パズルの得意な利用者には職員も一緒に行っている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔近くの馴染みの神社等への散歩は日常化され、希望があれば買い物に外出し柔軟に対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車椅子の利用者も、他の利用者と共に積極的に外出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔外出を希望しない利用者には、全員外出することを伝え、一緒に外出したくなるような働きかけをしている。強制でなく自主的に外出したくなる働きかけを行っている。毎日外出するように心がけている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔日中は玄関等に鍵を掛けることなく、いつでも自由な暮らしができるように支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者が1人で出かける時は、外出を止めるのではなく、職員がそと寄り添い外出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔事業所も認知されており、連携は取れている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年1回消防署と防火訓練は行い記録も残しているが、地域住民の参加、協力を得ての訓練ではない。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔 〕	○	災害を想定した訓練を、地域の住民の協力を得ながらすることを望む。地域の協力体制も含めた災害対策マニュアルも作成されたい。消化器の前に物が置かれているので、早急に消化器の前の物を除けることを望む。また食料品、水等の備蓄を早急にすることを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔偏りのない食事が提供され、食事、水分摂取量は把握している。特に水分摂取については、汁物を多くしたり、コーヒーを出すなど工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔献立は、利用者の希望を聞き、四季の食材を取り入れるなど工夫し作成している。また偏食のある利用者には、調理方法や食器を変えるなど柔軟に対応している。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕	○	献立は、栄養士のチェックを受けていないので、定期的に行行政の栄養士に専門的なアドバイスをもらうことを期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔事業所は改修型のため整然としているとは言い難いが、生活感のある空間となっている。利用者の生活がそこにあることを感じる事が出来るものとなっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔壁面には行事の写真が貼られているが、家庭的な雰囲気を壊しているものではない。〕 <input type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔 〕	○	活気のある生活感を感じるものとなっているが、季節感や五感を刺激する装飾に配慮することを望む。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔なじみの家具等の持ち込みは少ないが、各居室は個性的で利用者の身体能力に応じて、たたみの部屋、ベット等が配置されている。居室は整然とし清潔感があるとは言い難いが、安心して、ありのままの姿で暮らしている居室となっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔 〕		